



Hello DXers! 元 HCJB 技術宣教師 ロジャ スツッビー

みなさん今日は Hello DXers の Roger Stubbe です。もう何年も前になりますが、私のハローDXersの番組をおぼえておられる方もおられると思います。もっとも、私はもうエクアドルには住んでいません。アメリカのコロラド州のコロラドスプリングスに移りました。その HCJB 国際本部でリサーチ部門を担当してきました。以前は周波数アドバイザーもしていました。

アマチュア無線は、コールサインは W0 (ゼロ) ZMU がついています。もう半世紀以上になりました。その間、受信機もなんだか取り替えましたが、手始めには古い真空管式の自作のものでした。そのうちトランジスターになってからは、

店頭で売られている棚にあるものを選んで買うようになりまし。今、家で私が使っている無線用通信機材はケンウッド (トリオ) の TS450 でアンテナ・チューナーを内蔵しているのでアマチュア無線には使いやすいので満足しています。ほかに、同じようなタイプの ATS440 を車にのせて移動用につかっています。また、家ではアメリカ製の DrakeTR-7 も愛用しています。これは30年も前に出た古い機械なのですが全然問題ありません。しかし、短波放送をキャッチするためには DRAKE R-7A と R8 を愛用しています。両方とも短波受信には最高の機能を発揮してくれる名機だと言ってもいいでしょう。私はベリカード集めはしていませんが、アマチュア無線をはじめから交信できた相手とのベリカード交換はずっとやっています。放送局が発行するベリカードは集めていないので手元にはすこししかありません。



短波放送はいつまでつづくのかという質問についてですが、私自身は『短波には輝かしい未来がある』と信じています。まず短波は、ほかのメディアと違って外部からコントロールされることがありません。インターネットはスイッチをきられることがあります。また、国の情報を流すのに、ほかの国のローカル局に番組を提供するカタチで放送していますが、これすらも、いつ外からの力で放送が中断されるかは予断できません。

HCJB が世界に向けて番組を発信する送信所は海拔 2800 メートルの首都キトから西へ 30 キロ離れたピフォ村郊外の広い敷地にありました。HCJB のエンジニアだった私は実際に送信機の組み立てやアンテナの建設に直接たずさわりました。北米向け/日本向けのカーテンタイプ型のアンテナを立てたときのこともよく覚えています。あの頃のハイライトは何といても HCJB が設計した出力 500 kw 送信機とそれに連動させるパノラマアンテナが完成したことで今も感動を覚えます。

世界をカバーしてくれたこれらのアンテナはすっかりその姿を消してしまいました。広大な土地は地元の人たちが買い取り、アンテナ・ファームと呼ばれて林のように立っていた数々のアンテナはすべて取りはずされ、送信機も解体され、その一部は梱包されて HCJB オーストラリアのクヌヌラ送信所に空輸されました。現在オーストラリアで使用している送信機はキトから移したものです。ご存知のように日本向けに放送される日本語番組もエクアドルにあった HC100 百キロワット送信機が役目を担っています。

1986年にオランダのラジオ・ネザランドを表敬訪問したことがあります。尾崎さんも一緒でした。私は仕事のひとつとしてヨーロッパをはじめアフリカなど世界各国の放送局をまわってあいさつ回りするだけではなく、地元の放送局の技術援助もしました。南米では、ブラジル、アルゼンチン、チリをはじめほとんどの国に必要な放送機材を調達してとどけながら技術的相談にのりました。

エクアドルで私の心に焼きついているのはアンデスの雪山です。赤道直下で千古の雪をいただいてそびえるアンデスの山は忘れることができません。山登りは私の趣味のひとつなので休みにはよく登りにいきました。エクアドル・アンデスの最高峰はチンボラソ (6310米) ですが、山頂に立って周囲にそびえるほかの山の峰々に目を移しながら、神の創造の業のすばらしさにふれるとほかでは得られない感動を覚えます。

HCJB 日本語放送をきいておられるリスナーのみなさま方に番組を通して語られる、昨日も、今日も、とこしえまでも変わることのないイエス・キリストの恵みが豊かにそそがれますようにお祈りいたします。それではまた。次の機会まで。Sayonara!

(写真) 私のチャックに集まってきたラジオの数々。Grundig 受信機は HCJB の創始者クラレンス・ジョーンズ博士の所有していたもの。88年前に HCJB が放った第一声がこのラジオから流れてきたのだと想像するだけで心がおどります。

サタデー・トーク

バイブル・トーク

きき手 尾崎一夫 毎週土曜日放送

淀橋教会 峯野龍弘主管牧師 毎週日曜日放送

5月04日	ここが知りたい: アンデスの声 History	5月05日	聖書遊覧バス 旧約聖書 詩篇の旅路
5月11日	ホルヘ&道夫: 思い出の Serenata コンサート	5月12日	リスナーからの手紙 (お便り交換の時間)
5月18日	いよこの サボテン日記 (Road & Market の巻)	5月19日	聖書遊覧バス 旧約聖書 詩篇の旅路
5月25日	アンデスの花嫁 関根玲子	5月26日	聖書遊覧バス 旧約聖書 詩篇の旅路

放送後の番組は、ホームページ(<http://reachbeyond.jp>)のトップページ左側メニューにある『インターネット放送』のリンクページからお聴きいただけます。(mp3形式)

放送時間: 日本時間 午前7時半~8時 15410kHz (再放送) 午後8時~8時30分 11905kHz
(米国アリゾナ州制作/オーストラリア送信)

REACH
BEYOND

